

2025-2026 年度 国際ロータリー第 2720 地区

ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

10 2025
Oct.
Vol.4
発行 / 10月1日

Rotary 
District 2720



Governor's Voice

「未来をつなぐ」

国際ロータリー第 2720 地区
2025-2026 年度ガバナー

藤田 千克由

ココロの距離はゼロセンチ

Content

03

ガバナーメッセージ

ポリオ根絶への歩みと
私たちの「実感」

11

ガバナーと地区のつながりを
ガバナー公式訪問を終えて

11

大分第5グループ
山城 繁樹AG

12

大分第3グループ
平野 教康AG

13

大分第2グループ
秋吉 実AG

15

会員数報告

今月の予定

入退会者のお知らせ

07

長寿の秘訣は「利他」のころ

牧勝美会員の歩み — 戦中からロータリーへ

Governor's Message



国際ロータリー第 2720 地区
2025-2026 年度ガバナー

藤田 千克由

ポリオ根絶への歩みと私たちの「実感」

ロータリーが長年取り組んできたポリオ根絶活動は、世界的に高く評価される偉業です。しかし、私たちクラブのロータリアンにとっては、活動の現場が遠く、日々の奉仕とは異なるため、実感を持ちにくいという声もあります。だからこそ実感に近づくために今、数字の裏にある命の物語に触れ、私たちの奉仕が世界に届いていることを今一度確認して知ることが大切です。

2017年には、39か国で4億3000万人以上の子どもたちが予防接種を受けました。これは単なる統計ではなく、未来を守る行動の積み重ねです。ナイジェリア・カノ州の母親は「ロータリーの人たちが来てくれた日、私は泣きました。村に医者がない私たちにとって、子どもがポリオにかからないという希望は夢のようでした」と語ります。インド・ビハール州では「兄はポリオで歩けません。でも弟はロータリーのキャンペーンでワクチンを受け、元気に走り回っています」と青年が感謝の言葉を述べています。パキスタンの山岳地帯では「険しい山道を越えてワクチンが届いた。娘が健康に育っているのはロータリーのおかげです」と父親が語りました。

こうした声は、私たちの奉仕が世界の家族に届いている証です。WHOは「ロータリーの支援がなければ、ポリオ根絶は不可能だった」と明言し、UNICEFも「最も信頼される市民パートナー」としてロータリーを高く評価しています。

Governor's Message

私たち一人ひとりの寄付、啓発活動、そして声かけが、世界の子どもたちの命を守る力になっています。今こそ、数字の裏にある物語に目を向け、誇りと実感をもってこの活動に参加していきましょう。

実際の証言とエピソード

パキスタン・カラチの青年（元ポリオ患者）

「私はポリオで足が不自由になったけれど、弟はロータリーのキャンペーンでワクチンを受けて健康に育っています。弟の未来を守ってくれてありがとう。」

この青年は、ロータリーの活動によって家族の中でポリオの連鎖が断ち切られたことに感謝を述べています。

アフガニスタン・ヘラート州の父親

「戦争で何もかも失ったが、ロータリーが持ってきたワクチンで娘は守られた。彼女が歩けることが、私たちの希望です。」

この証言は、紛争地域での活動の中でもロータリーが命を守る存在であることを示しています。

ブラジル：リオデジャネイロの母親

「息子がポリオにかからずに済んだのは、ロータリーのキャンペーンのおかげです。予防接種の日に、クラブの人たちが笑顔で迎えてくれたことを今でも覚えています。」

ブラジルでは「Together Against Polio」キャンペーンが全国的に展開され、家族の安心につながっています。

Governor's Message

マダガスカル：アンタナナリボの祖母

「私の孫はポリオで歩けなくなるところでした。ロータリーの人たちが走って届けてくれたワクチンが、彼の人生を変えました。」

この証言は、首都で開催された「Urban Trail」イベントの参加者からの声です。UNICEF や WHO と連携した活動が功を奏しました。

フランス：フレジュスの父親（T-Rex レース参加者）

「ポリオのことを知らなかった息子が、レースを通じて学びました。ロータリーが命を守る活動をしていることを、家族で知ることができました。」

ユニークな啓発イベント「T-Rex Race」は、ポリオ根絶の認知を広げるきっかけとなっています。

パキスタン：カラチの母親

「ロータリーの人たちが家まで来てくれて、娘にワクチンを打ってくれました。彼女が健康に育っているのは、あなたたちのおかげです。」

この証言は、GlobalGiving の報告に記録されたもので、現地の困難な状況下でも活動が続けられていることを示しています。

ベナン共和国（西アフリカ）

「ロータリーの人たちが来てくれて、村の子どもたち全員がワクチンを受けました。私の孫が健康に育っているのは、あなたたちのおかげです。」

この証言は、UNICEF とロータリーが協力して行ったベナンでの予防接種キャンペーン中に記録されたものです。

パキスタン・ムリー（山岳地帯）

「険しい山道を越えて、ロータリーの支援でワクチンが届きました。娘がポリオにかからずに済んだことに、心から感謝しています。」

2025 年 2 月のキャンペーンでは、45.4 万人の医療従事者が訪問接種を行い、4500 万人以上の子どもにワクチンを届けました。

Governor's Message

中国・四川省

「地震の後、医療が届かない中でロータリーの支援がありました。ワクチンを受けたことで、子どもたちに安心が戻りました。」

中国では、ロータリーと WHO の協力により、1 週間で 1 億 6500 万人の子どもにワクチンが届けられた記録があります。

ナイジェリア・カノ州

「ポリオで足が不自由になった娘を見て、他の子どもたちには同じ思いをさせたくないと思いました。ロータリーの活動がその願いを叶えてくれました。」

ナイジェリアは 2020 年にアフリカで最後にポリオフリーを達成した国であり、ロータリーの貢献が大きく評価されています。





END POLIO NOW

CHARITY KARAOKE PARTY vol.3



音楽を通しロータリアン同士が
親睦を深めながらポリオ根絶を願う
チャリティーイベントです。

今年は大分・熊本の2会場で開催!! 『つながれ』支援の輪。

2025 ポリオ根絶チャリティーカラオケパーティー vol.3

熊本会場

10/25 SAT

start 16:30 ~ close 20:00

ライブハウス 熊本B.9

熊本市中央区 城東町 5-13 ビーナインビル 1F

□参加バンド『Zezeband』『M&M』『熊本平成RCバンド』『熊本東RCバンド』

大分会場

10/31 FRI

start 18:00 ~ close 20:30

ライブ&ギャラリー BRICKBLOCK

大分市生石5丁目7-5

□参加バンド『Zezeband』『M&M』『ヤマモトシュンジとバンブーボーイズ』
『鎮西学院ジャズアンサンブルRAC』

■ 共通チャリティーパーティ料金 【販売期間：9月30日（火）まで】

■ 参加費 3,000 円

※各種アルコール・ソフトドリンク
ワンドリンク+
おつまみプレート付き



■ カラオケを歌う(1曲) 2,000 円

・事前にお申込が必要です。

カラオケ優勝者には^{ボーナス}熱唱BONUSステージ!!

カラオケマシン採点+会場オーディエンスの
1人1票による総合得点で優勝者を決定。
優勝者は地区大会ステージにて熱唱して頂きます!

大分
会場

主催/国際ロータリー第2720地区(ロータリー財団部門・公共イメージ向上部門)
大分会場運営/チャリティーカラオケパーティvol.3 大分実行委員会

協力/ブリックブロック・平倉建設株式会社

Treasure Excavator

ロータリー
お宝発掘
シリーズ

Treasure
Excavator

長寿の秘訣は「利他」のころ

牧勝美会員の歩み ― 戦中からロータリーへ

推薦者：清田好彦（熊本西南ロータリークラブ）

取材：地区副幹事 植山朋代（2720 J.O.K. REC）



牧 勝美 会員
（熊本西南ロータリークラブ）

熊本西南ロータリークラブの牧勝美会員（105 歳）は、大正 8 年 12 月 11 日生まれ。本年で 105 歳を迎えられました。現在は熊本偕行会名誉会長を務められ、ロータリーの全ての例会に毎回実際に足をはこんで出席。豊かな経験と深い見識で、今なお後進に大きな学びを与えています。

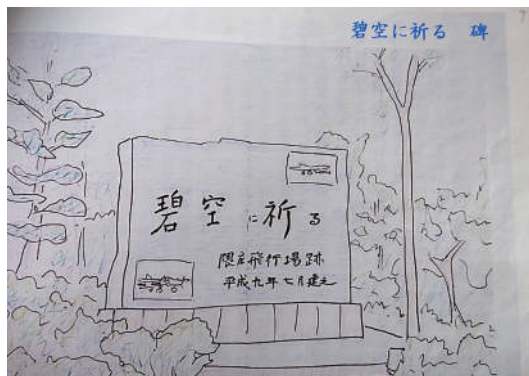
軍人であった父親の勤務に伴い、静岡で誕生した後、松江や静岡など各地を転々としながら少年時代を過ごされました。戦時中は、熊本市城南町の隈庄飛行場（旧日本陸軍飛行場）で爆撃機の整備に従事。各中隊整備班の指導者として多くの若い整備兵を育て上げました。戦後飛行場の開拓にも携わりましたが進駐軍の指令により事業は県の管轄へと移り、一開拓団員として開拓・農業に従事しました。牧会員は、そこで散華した兵士たちを慰霊するため、平成

9 年に「碧空に祈る」と刻まれた記念碑を建立。歴史を後世に伝える活動にも尽力されています。

当時を振り返り、「我が部隊の重爆撃機がサイパン攻撃の際、通常は戦闘機が護衛に就くが護衛する戦闘機も無い状態での出撃でした。燃料補給と整備の為、硫黄島に途中着陸。硫黄島には海軍の航空隊の整備兵が駐屯していましたが、我が陸軍は何人くらいの整備兵を連れて行けばよいか打診した処、海軍の飛行機は大損害を受け整備兵は何も出来ず余力があるから一人も連れて来なくてよいと言われた。」と語られる牧会員。その言葉には、過酷な戦争の実態を知っている人だけが持つ重みがあります。

戦後は整備の技術を生かし、市内のバス会社へ入社。そこで出会ったのがロータリーでした。熊本ロータリークラブの会員でもあった社長の勧めにより、熊本西南ロータリークラブ創立時よりロータリーに参加。創立 5 年目で会長職を務められました。当初は「ロータリーは社長が入会するもの」と思い、自分には分不相応と感じたといいます。しかし「小さな店の店長でも入会できるのだから、数百人の社員を抱える会社の役員が臆すること

Treasure Excavator



隈庄飛行場跡地に建立した記念碑

はない」という社長の言葉に背中を押され、入会を決意されました。

西南ロータリークラブは26名でスタート。当時は豊肥線より南、浜線より西の地域に会社や住居を持つ者に限られていました。入会当時を振り返り、「思い出といえば勉強ばかり。定款細則の読み合わせや、分厚い手続要覧を手にロータリーを学んだ」と懐かしそうに話されます。

江戸時代の儒学者・阪静山の言葉「怠らず行か

ば千里のはても見ん 牛の歩みのよし遅くとも」が初代戸川会長の座右の銘でしたが「まずは勉強を」という意味であったのに、他の会員からは「牛の歩みのようにゆっくりと奉仕事業を計画していこう」という意味だと誤解されていたという逸話も、創立期ならではのエピソードです。

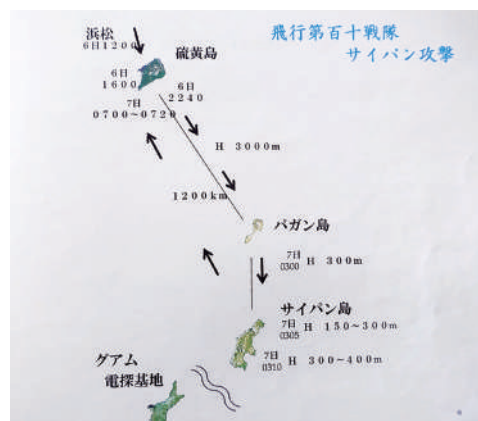
当時の地区は現在のように「大分・熊本」ではなく、「熊本・大分・鹿児島・宮崎」の4県がひとつにまとまっていた。昭和51年のクラブ創立時を思い返すと、例会のスタイルは今日と大きく変わらないものの、会長スピーチは今のようになく、より簡潔であったように記憶されています。

また、「スマイル」は創立時から「良いことを報告する時間」として設けられていました。会員それぞれが仕事や家庭での喜ばしい出来事を語り合い、皆で共に喜びを分かちあう、それこそがロータリーの信条の一つである、と牧会員は振り返られます。

創立当時のロータリーは、奉仕活動や国際交流といった大きなテーマだけでなく、仲間同士が日々の小さな幸せを分け合う場でもありました。その温かな雰囲気が、今なおクラブ文化の礎として息づいています。

牧会員は、今のロータリーを見つめると「少しルーズになった印象がある」と率直に語られます。創立当時も、ビジターとして例会を訪れながら卓話を聴かずに食事だけで退席する人がいたといいます。しかし「それは卓話者に対して失礼である」と会長時代から常に心に留めておられました。

会長を終え、SAAを務められた際には、そのような会員に対して「今帰られては出席になりませんので、証明書が出せませんが、それでもよろしいでしょうか?」とあえて確認したこともあったとのこと。そのためか「西南クラブにメー



戦時の資料

Treasure Excavator

キャップが少ないのは、もしかしたら自分のせいかもしれない」と笑いながら振り返られました。

一方で、牧会員が特に大切にされてきたのが「職業奉仕」です。ロータリーの精神を最も端的に示すものとして、手続要覧の冒頭に掲載されていた「決議 23-34」をたびたび紹介し、「ロータリーとは何か」を後輩に伝える努力を続けてこられました。牧会員にとって職業奉仕とは、単なる活動の一部ではなく、ロータリアンの心構えそのものを形作る根幹だったのです。

ロータリアンとして — 職業奉仕への思い

現在、西南ロータリークラブでは国際奉仕としてタイへの水道設備寄贈や、社会奉仕として街路樹の剪定など、多彩な活動が展開されています。そうした中で、牧会員が特に大切にされてきたのは「職業奉仕」です。

「ロータリーの奉仕は儲からない」「職業奉仕というのは、自分のことは考えずみんなのためにという意味である」という言葉を耳にすることがあります。しかし牧会員は、それは誤解を含んでいると指摘されます。そもそも“職業”には二つの意味があり、一つは生活のために行う occupation、もう一つは使命感を持って取り組む vocation（天職）です。そして、ロータリーで語られる職業奉仕は、この vocation を意味するのだと説かれます。

牧会員はこう語ります。

「vocation とは、まず世の中の人々の生活に役立つことが第一義であり、同時にそれを行う自分自身もまた、その恩恵に浴するようになる。決して『自分を犠牲にせよ』ということではありません。努力して信頼を得ることで自分の職業が栄え、その結果、より良い仕事をする人がより多くの利益を得る。これこそが職業奉仕の実践であると、私は学んできました」

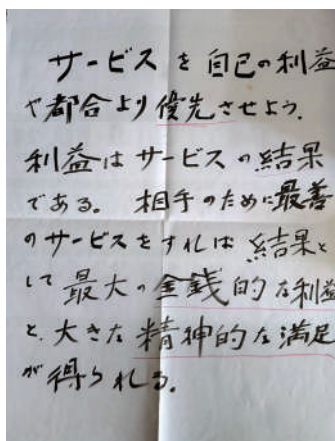
この確信に裏打ちされた姿勢は、長年にわたりクラブ内外で後輩ロータリアンに伝えられ、今なお多くの会員に影響を与え続けています。

プライベートにおける奉仕の実践 — 音訳ボランティア 40 年

牧会員の奉仕の心は、ロータリーを超えて、プライベートにも息づいています。65 歳で定年を迎えた頃、朗読ボラン



推薦者の清田好彦ガバナー補佐と牧さん



卓話で使用していた手書きの資料

Treasure Excavator



パソコンを操作される牧さん

ティアをしていた夫人から「点字図書館で男性の音訳ボランティアを探している」と勧められ、活動を始められました。以来 40 年、歴史や人生論、政治経済学など硬めの書籍を中心に音訳を続けられています。

活動 20 年の節目には、その功績が認められ緑綬褒章を受章。2022 年には『PHP』(No.889)でも紹介されました。録音媒体がカセットテープから USB へと移り変わる中、独学でパソコンを

習得し、現在も意欲的に音訳を続けられています。その数は 500 冊近くにのぼり、視覚障害者の学びと自立を支えてきました。

牧会員はかつて視覚障害者の方の「私たちは恩恵を受ける存在ではなく、学ぶ手段さえあれば社会に役立てる人間なのです」という言葉に感銘を受け、自らの音訳がリーダーを育てる礎になると実感されたといいます。そして「人間は一生勉強。娯楽でなく学びのための音訳に真摯に取り組む」と決意を新たにされました。

長寿の秘訣を尋ねられると、「利他の心」と答えられます。若い頃は実年齢より年上に見られることが多かったそうですが、音訳ボランティアを始めてからは逆に若く見られるようになったとのこと。声を出し、辞書を引き、頭を使うことが健康と若さを保つ秘訣だと笑顔で語られます。最近読んだ書籍で「人の役に立つことで幸せホルモンが分泌される」と知り、「やはり利他の心は老化防止につながる」と確信されたそうです。

ロータリーは時代とともに変わり続けています。しかし、変わってはいけない核心もあります。それは、人を敬い、感謝する姿勢、学びを重ねること、そして職業を通じて社会に奉仕するという原点です。これらを大切にして、皆さんがロータリアンとして、また一人の社会人として成長していかれることを心から願っています。

「お宝発掘シリーズ」推薦者募集のお願い

ガバナー月信の新企画「お宝発掘シリーズ」は、長きにわたりロータリークラブや地域社会に貢献された方々（故人を含む）の功績や物語をインタビューでご紹介するものです。

【推薦いただきたい方】

- ・貴クラブ活動で顕著な功績を残された方。
- ・ロータリーの奉仕精神を体現し、多くの会員に影響を与えた方。
- ・ロータリー所属問わず、地域社会の課題解決・発展に貢献された方。
- ・故人の場合は、ゆかりの深い方で当時のお話をお聞かせいただける方。

※推薦いただいた方の中から選考の上、取材についてご相談させていただきます。地区の歴史の中で輝く「お宝」を共に発掘できることを楽しみにしております。

【推薦先】

メールアドレス：rotary2720@gmail.com
ガバナー事務局担当副幹事 植山朋代

Event report 02

ガバナー公式訪問を終えて

大分第5グループ

(佐伯・佐伯 MARINE・豊後大野)

報告：山城繁樹 AG

(佐伯 MARINE)



2025年8月27日水曜日にまだまだ残暑厳しい中、佐伯市のひょうたん小路にて第2720地区藤田千克由ガバナー、財津公明地区幹事をお迎えして、大分第5グループとしては初めてのガバナー公式訪問を開催しました。

参加クラブは豊後大野RC①(玉田会長、原田幹事)②佐伯RC(御手洗会長、川野幹事、児玉次期会長、廣瀬次期幹事)佐伯MARINE・RC(工藤会長、増村幹事、本田次期会長、深井次期幹事)の3クラブで行いました。

17時から18時まで開催した会長幹事懇談会のファシリテーターをガバナー補佐の山城が務めさせていただきました。

各クラブの今期の取り組みと課題は①豊後大野RCは会員増強については純増2名を目標に新会員候補者と交渉中です。奉仕活動につきましては内山公園での清掃活動、植樹、米山奨学生を韓国より現在5人目を受け入れ中です。国

際奉仕活動は韓国、ネパールとの交流の準備中とのことです。②佐伯RCは会員増強目標は5名で現在入会勧誘中です。奉仕活動はロータリー奨学金として佐伯市内の高校生6名に月1万円の奨学金を支給中です。その他に献血活動を57回継続中、いのちの電話の支援活動を継続中です。③佐伯MARINE・RCは会員増強は今期すでに3名入会しており、あと2名入会を勧誘中です。奉仕活動については市内幼稚園児お絵描展開催、親睦ピンポン大会開催、佐伯市西浜海岸の清掃活動、PETボトルキャップの回収活動等を推進、継続中とのことです。

18時30分からは合同例会を開催しました。藤田ガバナーからガバナーアドレス「みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ」の卓話の後に夜例会ならではの合同懇親会は藤田ガバナー、財津幹事を囲んでの佐伯の海の幸とおいしいお酒で会員の皆さん大いに盛り上がり「みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ」を楽しく実践し、最後に手と手つないで盛会のうちに閉会しました。

今回は新たな3クラブでの合同例会の開催となり、豊後大野RCの皆様には遠路暑い中、最後まで参加して交流を深めていただき本当にありがとうございました。

Event report 02

ガバナー公式訪問を終えて

大分第3グループ

(別府東・別府中央・湯布院・日出)

報告：平野教康 AG
(別府中央)

藤田ガバナーのスローガン みんなでつなぐ、育てる、ロータリーシップをベースに公式訪問に臨みました。

今回は地域に根差した社会奉仕と会員増強ついでの発表になりました。

奉仕活動では4ロータリーとともに青少年および子供さん達への活動でした。



別府東ロータリーはロータアクトと少年野球、湯布院ロータリーは子供食堂と少年野球、日出ロータリーも子供食堂と少年野球、別府中央ロータリーは会員企業（放課後等デイサービス）の夏祭り支援などでした。単年度でなく継続事業として取り組んでいます。会員増強では4ロータリーとともに苦戦していますがロータリーごとに目標を定め実行あるのみという発表でした。藤田ガバナーの考えと人間性も皆さん感じ楽しい公式訪問でした。

Event report 02

ガバナー公式訪問を終えて

大分第2グループ

(豊後高田・宇佐・宇佐八幡・宇佐 2001)



報告：秋吉実 AG
(杵築)

大分第2グループの豊後高田 RC、宇佐 RC、宇佐八幡 RC、宇佐 2001 RC の合同によるガバナー公式訪問例会が、9月2日（火）に藤田千克由ガバナー、濱永龍二地区副幹事にご出席いただき宇佐ホテルリバーサイドにて開催されました。

例会に先立ち、11時より別室にて4クラブの会長幹事、ならびに次期会長幹事が集い会長幹事懇談会を開催いたしました。合同の懇談会はこれまでにあまり前例がなく、ガバナー補佐がファシリテーターを務め、ディスカッション形式で各クラブの現状と課題、会員増強やクラブの活性化などについて1時間余り討論いたしました。他のクラブの方針や活動に、出席された各クラブの会長幹事は熱心に質問やメモを取っておられました。やはり共通の課題は会員増強ですが、それぞれのクラブの事情で方針も方法も異なりますが、とても興味深い討論でした。

最後に藤田ガバナーから「未来を見据えた活動が必要であり、共感や感動を呼ぶ活動を重視されることが促される」とアドバイスをいただき、充実した会長幹事懇談会を閉めることができました。ぜひ、この討論の内容をクラブに持ち帰り、クラブの活性化に役立てていただきたいと思います。

例会は13時から主管を務める宇佐 RC の石田浩一郎会長の点鐘で始まり、同じく石田会長の会長の時間と続きましたが、4クラブで100名近く集まったロータリアンたちに圧倒される雰囲気でした。

藤田ガバナーのガバナーアドレスでは、「みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ」の地区スローガンのもと、団結と共感を育み、クラブと地域の地域、そして個人の成長を目指すという地区の方針を示されました。また、地区大会時に開催される子供屋台開催と来年6月の台湾での国際大会への参加について多くのご参加を呼び掛けておられました。

例会の最後に豊後高田 RC の為成玄一郎会長から謝辞があり閉会しました。

今回の公式訪問は4クラブから多くの会員の皆様にご列席を賜り、貴重な時間を過ごせたことに心から感謝申し上げます。

Event report 02

大分第2グループ

(杵築・くにさき・杵築 one heart 衛星)

大分第2グループの杵築 RC、くにさき RC、杵築 one heart ロータリー衛星クラブの合同によるガバナー公式訪問例会が、9月3日（水）に藤田千克由ガバナー、財津公明地区幹事にご出席いただきホテルベイグランド国東にて開催されました。

例会に先立ち、11時より別室にて3クラブの会長幹事、次期会長幹事が集い会長幹事懇談会を開催いたしました。この3クラブは親子クラブで気心が知れている間柄ですが、藤田ガバナーをお招きして、このような形で合同のディスカッションをするのは初めてですので、出席された皆さんの緊張感が伝わってきました。今回はガバナー補佐がファシリテーターを務め、各クラブの現状と課題、会員増強やクラブの活性化などについて1時間余り討論いたしました。他のクラブの方針や活動に、直接質問される方もいて活発な意見交換が行われました。昨日から、共通の課題はやはり会員増強です。どのクラブも会長の思いが表れて力強い方針が発表され議論が重ねられました。今後どのような変化を見せるか、ガバナー補佐として見守り、また一会員として積極的に会員増強に努めていきたいとあらためて決意をいたしました。また、討論に先立って、11月22日開催されるIMについて、ホストクラブ、コ・ホストクラブとして協力してもらうため、3クラブにはチラシ案などを配り概要の説明をいたしました。最後に藤田ガバナーから、「会員増強で男性よりも女性を・・・という話はLGBTQに影響しますので非常にやりにくい」「会員増強退会防止には例会の後のお茶会が有効的である」などの事例を挙げていただきながらアドバイスがありました。



ました。

会長幹事の皆様には、ぜひ、この討論の内容をクラブに持ち帰り、クラブの活性化に役立てていただきたいと思います。

例会は12時30分から主管を務めるくにさき RC の酒井隆宏会長の点鐘で始まり、酒井会長、杵築 RC の八坂恵美子会長、衛星クラブの衛藤二郎議長の会長の時間、議長の時間と続きました。

藤田ガバナーのガバナーアドレスでは、「みんなでつなぐ、育てる、ロータリーリレーションシップ」の地区スローガンのもと、団結と共感を育み、クラブと地域の地域、そして個人の成長を目指すという地区の方針を示されました。また、地区大会時に開催される子供屋台開催と来年6月の台湾での国際大会への参加について多くのご参加を呼び掛けておられました。例会の最後に杵築 RC の東照寺 忍副会長から謝辞があり閉会しました。

今回の公式訪問は3クラブから多くの会員や名誉会員の皆様にもご列席を賜り、貴重な時間を過ごせたことに心から感謝申し上げます。

2025 年 8 月 ロータリー会員数報告

グループ	クラブ名	年 初 7月1日	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減	当月末 会員数
熊本第一	山 鹿	13	0	0	0	13
	玉 名	46	2	1	1	47
	荒 尾	34	1	0	1	35
	玉 名 中 央	6	2	0	2	8
	(4 RC)	99	5	1	4	103
熊本第二	阿 蘇	32	0	1	-1	31
	肥 後 大 津	23	0	0	0	23
	菊 池	17	4	0	4	21
	肥 後 小 国	12	0	0	0	12
	熊 本 菊 南	12	3	0	3	15
	熊本'05福祉	9	0	0	0	9
	熊本りんどう	16	0	0	0	16
熊本第三	(7 RC)	121	7	1	6	127
	熊 本	87	4	2	2	89
	熊 本 東	34	2	0	2	36
	熊 本 北	5	0	1	-1	4
	熊 本 東 南	37	1	0	1	38
	熊本城東Yon-Nasse衛星	27	0	0	0	27
	熊本城東Yon-Nasse衛星	9	0	0	0	9
	熊本グリーン	20	0	0	0	20
	熊 本 平 成	18	0	0	0	18
	熊本水前寺公園	7	0	0	0	7
熊本第四	(8RC+1衛星C)	244	7	3	4	248
	熊 本 南	64	1	0	1	65
	熊 本 江 南	55	1	0	1	56
	熊 本 西 南	27	1	0	1	28
	熊 本 西	8	2	0	2	10
	熊 本 中 央	25	3	0	3	28
	熊 本 西 稜	17	0	0	0	17
	(6 RC)	196	8	0	8	204
熊本第五	八 代	73	6	0	6	79
	八 代 北	23	2	0	2	25
	八 代 南	43	1	0	1	44
	宇 土	14	2	0	2	16
	八 代 東	51	5	1	4	55
熊本第六	(5 RC)	204	16	1	15	219
	人 吉	49	3	0	3	52
	水 俣	23	1	0	1	24
	多 良 木	19	0	0	0	19
	芦 北	23	0	0	0	23
	人 吉 中 央	33	0	0	0	33
熊本第七	(5 RC)	147	4	0	4	151
	天 草	44	2	0	2	46
	牛 深	16	0	0	0	16
	西 天 草	18	1	0	1	19
	天 草 中 央	37	0	0	0	37
	天草パールライン	14	2	0	2	16
	(5 RC)	129	5	0	5	134
熊本40RC+1衛星C計		1,140	52	6	46	1,186

グループ	クラブ名	年 初 7月1日	本年度 入会者	本年度 退会者	本年度 増減	当月末 会員数
大分第一	中 津	42	1	0	1	43
	日 田	50	1	1	0	50
	中 津 中 央	17	0	0	0	17
	日 田 中 央	43	0	0	0	43
	玖 珠	16	1	0	1	17
	中 津 平 成	23	1	0	1	24
	(6 RC)	191	4	1	3	194
大分第二	豊 後 高 田	40	0	0	0	40
	宇 佐	22	0	0	0	22
	杵 築	12	1	0	1	13
	杵築one heart衛星	7	0	0	0	7
	く に さ き	19	0	0	0	19
	宇 佐 八 幡	24	0	0	0	24
	宇佐2001	23	0	1	-1	22
大分第三	(6RC+1衛星C)	147	1	1	0	147
	別 府	37	1	0	1	38
	別 府 北	35	3	1	2	37
	別 府 東	43	1	0	1	44
	日 出	15	0	0	0	15
	別 府 中 央	15	2	0	2	17
	湯 布 院	13	0	0	0	13
大分第四	(6 RC)	158	7	1	6	164
	大 分	48	3	1	2	50
	大 分 東	32	0	0	0	32
	大 分 臨 海	46	2	0	2	48
	大 分 南	39	0	0	0	39
	大 分 中 央	90	2	0	2	92
	大 分 1985	26	0	1	-1	25
	大 分 城 西	28	0	0	0	28
	大分キャピタル	56	2	0	2	58
	2720J.O.K.REC	58	1	0	1	59
大分第五	大分Oli Oli	22	5	0	5	27
	(10 RC)	445	15	2	13	458
	竹 田	21	1	0	1	22
	佐 伯	31	0	0	0	31
	臼 杵	28	1	0	1	29
	津 久 見	31	2	0	2	33
	豊 後 大 野	11	0	0	0	11
大分第六	佐伯MARINE	29	3	0	3	32
	(6 RC)	151	7	0	7	158
	大分34RC+1衛星C計	1,092	34	5	29	1,121
74RC+2衛星C総計		2,234	86	11	75	2,307

RI2720 地区事務所

〒860-0807 熊本市中央区下通 2-7-7 R-terrace4F

TEL.096-312-2720 Fax.096-355-2720

E-mail : ri2720gof@eos.ocn.ne.jp

RI2720 地区 ガバナー事務所

〒870-0846 大分市花園 2 丁目 11 番 42 号 1F

TEL.097-574-8198 Fax.097-574-8199



2025 年 8 月
ローターアクト会員数報告

クラブ名	年 初 7月1日	今月 入会者	今月 退会者	今月 増減	今月末 会員数
八 代 RAC	11	0	0	0	11
人 吉 RAC	7	0	0	0	7
熊 本 南 RAC	12	1	0	1	13
熊本火の国 RAC	10	0	1	-1	9
熊本城東 RAC	6	0	0	0	6
熊本東南 RAC	28	2	1	1	29
熊本グリーン RAC	2	0	0	0	2
津 久 見 RAC	10	0	0	0	10
大 分 RAC	2	0	0	0	2
別 府 RAC	11	1	0	1	12
別 府 北 RAC	4	0	0	0	4
日 田 中央 RAC	13	0	0	0	13
大 分 中央 RAC	24	0	0	0	24
E ク ラ ブ RAC	22	0	0	0	22
計					164

※8 月末時点での会員数です。
その他の項目については次号以降反映予定としております。

ロータリアン・ローターアクト・衛星クラブ
合計会員増強数値目標！

～ロータリアン・ローターアクト・衛星クラブで
合計 2,826 名を目指します～

2,826 人

8 月末までの合計会員数は
2,471 人

内 訳	年初 7/1 合計会員	本年度合計 入会者	本年度合計 退会者	本年度合計 増減	8月末合計 会員	目標数値 合計
ロータリアン	2,218人	86人	11人	75人	2,291人	2,610人
ローターアクト	158人	4人	2人	2人	164人	208人
衛星クラブ	16人	0人	0人	0人	16人	8人
合計	2,392人	90人	11人	77人	2,471人	2,826人

※各クラブの詳細はホームページからご確認ください

目標達成まで あと

355人

10 今月の予定
Oct.



最新の行事カレンダーは
こちらの QR コードから
ご確認ください



4 日 (土)・5 日 (日) ローターアクト年次大会

6 日 (月) 熊本第四グループ② 公式訪問

8 日 (水) 大分第五グループ② 公式訪問

10 日 (金) 熊本第三グループ② 公式訪問

11 日 (土)・12 日 (日) RAC 資金調達活動：100 キロウォーク

14 日 (火) 熊本第六グループ③ 公式訪問

16 日 (木) 熊本第③グループ③ 公式訪問

18 日 (土) 第 1 回 AG 研修・部門長会議

20 日 (月) 大分第四グループ③ 公式訪問

22 日 (水) 熊本第七グループ 公式訪問

25 日 (土) 熊本第 3・4 グループ 合同ポリオ撲滅募金活動

28 日 (火) 大分第一グループ① 公式訪問

31 日 (金) 熊本第三グループ② 公式訪問

入退会者のお知らせ

2025.9.20 現在

入会者

新会員をご紹介します

クラブ名	氏 名	職業分類
中津平成	藤田 守	銀行業
別府北	後藤 直也	商業銀行
別府中央	渡邊 寛	商業銀行
大分中央	小野 公弘	冠婚葬祭業
大分中央	成田 裕希	サービス業
大分	高橋 潤一	新聞発行
臼杵	山本 勇一	造船業
玉名	冨永 啓太	金融
玉名	後藤 康雄	金融
玉名	久保田 めぐみ	薬局
玉名	吉田 隆	新聞販売
玉名	志水 愛彦	金融
熊本	高橋 洋匡	医療品製造・販売
熊本	馬場 広大	公共放送
熊本東南	片岡 正和	タクシー業
熊本江南	本田 久士	電気通信工事
熊本江南	岩田 崇史	データーバンク
熊本西	小山 信一郎	司法書士
熊本西	和泉 秀	建築設計
熊本西	高山 絵恵	フィットネススタジオ
熊本西	山口 治子	情報通信業
熊本中央	内田 大地	放射線外科医
熊本中央	平江 和子	化粧品販売
人吉	内布 光	冷暖房設備工事
天草	益田 和明	税理士
天草中央	渡辺 浩年	貨物自動車輸送
天草中央	原田 良	建設業

退会者

クラブ名	氏 名	職業分類
日田	笹倉 順	書家
別府東	江里口 嘉紀	土木工事
大分	長野 健	新聞発行
大分中央	丸山 征也	冠婚葬祭業
熊本	田原 謙一郎	中央銀行
熊本	水澤 豪	ビール醸造
玉名	吉永 博之	旅館
玉名	馬氷 慎哉	金融
玉名	佐藤 満	金融
玉名	前田 貴輝	小児科
玉名	宮本 徹	総合印刷
玉名	渡邊 知宣	神道
玉名	田村 友二	金融



国際ロータリー第 2720 地区
ホームページはこちらの
QR コードからご覧ください

物故会員



本藤 潔 会員

ほんどう きよし

菊池ロータリークラブ

令和 7 年 9 月 21 日
ご逝去 (59 歳)

ロータリ歴 3 年 8 ヶ月

謹んでご冥福をお祈りいたします